

## 第 19 回災害対策本部会議

日 時	令和元年 11 月 5 日 (火) 13 : 30
場 所	市役所本庁舎 2 階 特別会議室
出席者	市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、国土交通省東北地方整備局、福島県、新潟県、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会、西園敏弘日本大学工学部教授、KDDI 株式会社、株式会社 NTT ドコモ

### 【各部局長報告】

#### ○生活環境部長

- ・ 10/31 までの災害ごみの搬出量は累計 6,299 t である。
- ・ 自衛隊協力による収集・搬出作業は延べ 2,568 回で完了した。
- ・ 仮置き場は中田スポーツ広場を閉鎖した。本日から日和田スポーツ広場を仮置き場として供用開始する。
- ・ 家庭ごみの受入自治体として福島市、田村市が追加され、仮置状況は順次減る予定である。

#### ○保健福祉部長

- ・ 避難所状況について、11 月 5 日現在の避難者数は、13 箇所、190 世帯、377 人である。
- ・ 入浴送迎は市マイクロバス 1 台で運用中である。
- ・ 配食について、明日から小学校等で昼食のみ学校給食を提供予定である。
- ・ 要配慮者宿泊施設利用や避難所短期宿泊等の二次避難については、11 月 1 日から受付が開始された。

#### ○税務部長

- ・ り災証明書は 11 月 2 日から郵送を開始した。
- ・ 認定調査は第 3 クール。11/8 までにある程度調査終了予定。
- ・ 第 1 クールの調査データにエラー発生。当時の従事者に調査依頼予定。
- ・ 税条例（減免関係）案がまとまり市長専決予定である。今後減免受付を開始する。

#### ○建設交通部長

- ・ 被災者の市営住宅等への入居状況について、市営住宅 62 世帯、国の公務員住宅 2 世帯、県営住宅 32 世帯、応急仮設住宅 12 世帯の合計 108 世帯が入居済である。
- ・ 今後、市営住宅 10 世帯、国の公務員住宅 18 世帯、県営住宅 39 世帯、応急仮設

住宅 135 世帯の合計 202 世帯が入居見込みであり、進捗率は 35.2%である。

○消防本部

- ・ 11/3 避難所から救急搬送あり。
- ・ 今後も災害対策本部と情報共有しながら対応していく。

【リエゾン等】

○福島県警察

- ・ 被災地の廃屋などを巡回し、犯罪抑止に努める（郡山警察署）
- ・ 富久山、西田、日和田等中心に通常体制に加えた体制で警戒中。現在のところ犯罪情報なし。（郡山北警察署）

○国土交通省郡山国道事務所

- ・ 11月5日午前10時をもって、国道49号田村町地内、片側交互通行規制を解除した。

○福島県

- ・ り災調査に1日20名派遣。避難所支援に本日～11/7まで6名派遣。

○新潟県

- ・ 家屋調査、本日から第3クール。11/4時点で8,617件完了。今週中に概ね終了予定。本日から、点在する区域外の家屋も調査対象。

○社会福祉協議会

- ・ ボランティアの活動状況について、11月4日現在で、実活動者数2,574名、被災者からの依頼件数481件、実活動件数609件、完了件数411件となっている。
- ・ 今後は床下の泥出しが作業の中心となる見込みである。

○日本大学工学部 西園教授

- ・ 本日から授業再開。日大通り等優先的にごみ撤去いただき感謝申し上げます。

【通信事業者】

○KDDI東北

- ・ auの運営状況は今週は台風前の水準に回復した。
- ・ 3箇所の避難所にwi-fi、充電器を設置した。

## ○NTTドコモ

- ・県本部を通じて避難所支援に派遣した。充電設備等の設置を行う。
- ・ドコモショップ県内2箇所が水没した。安積店は10月28日に再開した。
- ・被災校の受入先に連絡用携帯電話貸し出し中である。
- ・通信制限付プランの制限解除等予定である。

### 【村上上下水道事業管理者】

- ・水道料の減免について、一般住宅の半壊以上の世帯で、被災した月の水道料金等を全額免除する。事業所についても、り災証明あれば実施する予定である。
- ・今回の台風第19号被害は、激甚災害に指定されるなど大きな被害が出ているので従前より一段階上の被災支援策等を実施する。

### 【市長より】

- ・11月3日をもって自衛隊による廃棄物処理作業が終了となった。他市町村におけるゴミ処理センターの支援と併せて感謝申し上げる。
- ・富久山クリーンセンターの状況やこうしたごみ処理の事情を市民に理解いただき、ごみ減量や食べ残しの減量、過剰包装抑制に繋げていきたい。
- ・災害対応で歳出が増える中、行政にあっては最少の費用で最大限のサービス提供を行えるよう、さらなる努力が必要である。
- ・本日は「世界津波デー」。川の流れの円滑化について様々な分野での研究が必要と考える。
- ・り災証明発行はこれからが重要な局面。緻密な作業が必要で、本会議後、記者クラブにおいて説明申し上げる。